

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	現代朝鮮語の 'da' と 'modu' について
Author(s)	深見, 兼孝
Citation	ニダバ , 19 : 29 - 35
Issue Date	1990-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00044724
Right	
Relation	



現代朝鮮語の 'da' と 'modu' について

深 見 兼 孝

はじめに

この小稿は、次のような韓国現代小説を資料にして、現代朝鮮語における類義語 'da' と 'modu' の意味・用法の違いを明らかにしようとしたものである。以下、例文の出典は、すべて略号で表す。また、漢字の字体は日本式に統一した。

作者 (ganadala 順)	題目	発表年	略号
朴婉緒	Mogmalin 季節	1978	Mog
Song Yəŋ	中央線汽車	1971	中
李文烈	皇帝 Il Wihayə	1982	皇
趙海一	Amelika	1972	Ame
崔仁浩	Museun 複数	1973	Mu
洪盛原	週末旅行	1968	週

1. 「みんな (すべて)」の意味を表す 'da' と 'modu'

'da' も 'modu' も、およそ日本語で「みんな (すべて)」と訳すことができる場合がある。この場合、'da' は副詞的に用いられるが、'modu' は必ずしもそうとは言えない。次の例を見られたい。

(1) namjadilın da ədi issnın gəsilgga?(Mog)

“男たちはみんなどこにいるのだろうか。”

(2) da ədilo gassjyo?(Mog)

“みんなどこへ行ったの。”

(3) yəl siggu gaggaun siggulıl da caeda sidgo jebəb hogiissge ddenassə.(Mog)

“10名近い家族をみんな車に乗せて結構豪気に出発したんだ。”

(4) da jabassəyo?(週)

“みんな捕まえたの。”

(5) juŋənsən jəŋgəjan ɡənmuldılın modu bis, sbis, shesə hondoghagi sibsajigo, jil-
gim bagge nuni nəlinın ge boio?(中)

“中央線の駐車場の建物はみんなよく似てて間違えやすく、今外が雪が降ってるの
が見えますか。”

(6) g:lə^m modu əbsəjin gəbnigga?(皇)

“では、みんななくなったのですか。”

(7) cən^mgə:n nəl^bn g:n:l:l mand:lgi wi^hə ne gwil:l modu son^mu gajie bigg:lə^mə-
əssda.(週)

“天幕は広い蔭を作るために四隅をすべて松の木の枝に結び付けた。”

(8) daⁿjaⁿ nal:l pulənohji an^hmyən ju^həsoe gobalhayə modu jabagadolog mand:l-
gesso.(皇)

“今すぐこの縄を解かないと駐在所に告発してみんな捕まえさせるようにします
ぞ。”

これらの例は、`da` ((1)-(4))と`modu` ((5)-(8))が、それぞれ名詞と共に(奇数番の
例)、あるいは単独で(偶数番の例)用いられている例である。単独で用いられている場
合も、何について「みんな(すべて)」かは文脈から理解できる。いずれも副詞的な用法
とすることができよう。しかし、次の例を見られたい。

(9) saⁿduggun moduga hwajaⁿ jiugo soboghan, balo jig^m saryə so^ge nuun g_i ye^hə:i
doⁿglyod- əssgo, (以下略)(Ame)

“棺を担ぐ者みんなが化粧を落として素朴な、まさに今棺の中に横たわっている彼
女の同僚たちで、”

(10) g:ləna ggog han gajie yələbuni ihə^hə ju^syəya hal gəs:n ən_i byə^hsa gəini jəji-
l:n bəⁿjəga uli modul:l yələbuni miwəhage dən:n wənini dwəsən:n iesə də k:n
bulhəgi əbsgessdan:n gəsibnida.(Ame)

“しかし、一つだけ皆さんに理解していただきたいことは、ある兵士個人が犯した犯
罪が我々全てを皆さんが憎むようになる原因になっては、これ以上大きな不幸はない
ということであります。”

(9)(10)では、`modu`に格語尾がついている。また、次の例のように、特殊助詞がつくこと
もある。

(11) hagsəⁿdil modud:l do nəgen soju^hhajiman jələhge musəun jibnyə^m:lo demol:l
maggo issn:n jəd:l do nəgen soju^hhə.(Mu)

“学生たちもみんな私には大切だが、あんなに恐ろしい執念でデモを防いでいる彼ら
も私には大切だ。”

(12) wənyahə^mən uli modun:n jən^moldə^həssgi ddə^mune.(Mu)

“なぜなら我々みんなは戦死したから。”

さらに、副詞的用法では、次の例のように、何について「みんな(すべて)」かを表す
名詞(以下「先行名詞」と呼ぶ)との間に他の名詞句や様態を表す副詞句が挿入されるこ

ともあるが、(9)-(12)では`modu`は直接それに続いている¹⁾。

(13) dduḡbo yəinḡn salgi johḡn sesaḡ yəgiesə gabjagi adl jalagḡlo dolbyənhəss-
nḡnde gḡnyəga əjjina kḡge ddədinḡnji juwi salamdḡlin i jujəḡni madami jigḡg-
han hyojalḡl duəssdanḡn sasilḡl modu alge dḡəssda. (中)

“太った女は暮し安い世の中の話から急に息子自慢に突変したが、どれほど大声で騒いだか、周囲の人々は、この飲み屋のママがこの上もない孝行息子を得たという事実をみんな(=周囲の人々)知ることとなった。”

(14) yəjadḡlin modu ḡjae anjhiəjiəssgo nigundḡldo hənbyəḡḡi jisie ddala modu si-
mulughan pyojəḡḡilo ḡjae anjassda. (Ame)

“女たちはみんな椅子に座らせられ、米兵たちも憲兵の指示に従ってみんなぶすつとした表情で椅子に腰掛けた。”

(9)-(12)においては`modu`はむしろ、先行名詞に対して同格的に用いられているとも理解できる。少なくとも副詞的に用いられているとは言えないだろう。

さて、これまで`da`も`modu`も個々の構成員からなる人や事物の集団について「みんな(すべて)」を表す例を見てきた。しかし、`da`は個々の構成員が考えにくい場合にも用いられる。次の例を見られたい。

(15) gḡggajis ge cḡ dḡḡmuege bəlḡl da bbə bacil manhan gacilḡl jinijin anhayo.

(Mog) “そんなの崔同志に腑(=魂)をみんな捧げる価値はないわ。”

(16) ha, haa, nə da anḡnde mwəl gḡləsyo? (Ame)

“あれえ、私がみんな知っているのにおとぼけですね。”

(15)において「腑」の個々の部分が問題になっているとは考えにくい。「腑」全体として理解すべきであろう。同様に(16)においても、個々の細かいことよりもそれらを合わせたある事情全体(ここでは酒場の女たちとの情事)に言及されていると見なすべきであろう。

また、`da`はひとつの物の全体について「みんな(すべて)」を表すこともある。次の例を見られたい。

(17) dambəga micyə da tagido jəne yaggan ddəllinḡn sonḡlo bibyə ggḡgonḡn god sə
dambəe bulḡl butigilḡl dḡpulihamyə agdamḡl həssda, nuḡcyəssda, jwabulansəḡḡl
handa. (Mog)

“タバコがみんな燃えてしまう前に若干ふるえる手でもみ消してはすぐ新しいタバコに火をつける動作を繰り返し、悪態をついたりすかしたり、落ち着かない。”

(18) jənənḡn sinḡmunḡl da ilgḡl su issəssnḡnde yojḡḡn sinḡmunedo molḡnḡn gisaga
nəmu manhda. (週)

“前は新聞をみんな読めたが、この頃は新聞にも知らない記事が多すぎる。”

(17)は一本のタバコについて、(18)は一部の新聞についてである。

以上のように、相対的に`da`は副詞的で事物全体について言う傾向があるのに対し、

‘modu’は名詞的で事物の個々について言う傾向があると言えよう。

2. ‘da’と‘modu’の他の用法

(1) ‘da’

述部がある到達点に向かうような変化を表す場合には、その到達点に達したことを表す。日本語でおよそ「すっかり(まったく)」と訳せよう。次の例を見られたい。

(19) *babi da jiejija gag bagesə yəjadili nawa inwənsudəlo babgılısıl nalla gass-da.* (Ame)

“ご飯がすっかりできあがると各部屋から女たちが出て人数分だけ食器を運んで行った。”

(20) *aanyo, da naassəyo.* (Mog)

“いいえ、すっかりよくなったわ。”

(21) *naya da nilgin yəjande sangwan issna?* (Mog)

“わたしやすっかり年じゃ。関係あるかい。”

(22) *jane malmaddana sigani da dwəssjanha?* (週)

“君の言うとうりすっかり時間になったじゃないか。”

これらの例は、それぞれ、完成(19)、回復(20)、発達(21)、特定時間への到達(22)を表す。いずれもある到達点に達したことを表すと言えよう。また、ここから次の例のように時間の経過も表す。

(23) *gıləhge yələgaji junbiga iluəjigo issnən saie gyəgsulnyəni da gago sinhənyəni balgassda.* (皇)

“その様にいろいろ準備ができていた間に庚戌年が去り辛亥年が明けた。”

述部が移動を表す場合にも、到達点、すなわち目的地点についたことを表す。次の例を見られたい。

(24) *gijəg soli an dillyəyo? yəppəge da wassdanın solilaguyo.* (中)

“汽笛の音が聞こえませんか。楊平に着いたという音ですよ。”

また、移動の場所(通過点)を表す名詞がある時には、その場所(通過点)を越えたことを表す。次の例を見られたい。

(25) *caga bitalgılıl da cuəolla jagın maıl apı daldalıl jinanda.* (週)

“車が坂を登りきり小さな村の前の石橋を過ぎる。”

以上の例と1で考察したことを考え合わせると、‘da’は「全体の最後の部分に至るまで」といったような意味を持っていると言えよう。

なお、「みんな(すべて)」とか到達点という概念が薄れると、次のような強調の用法も出てくる。この場合、話者の焦りや不快感を伴うことが多い。

(26) *nege cıncanıl da dıddani.* (Mog)

“おまえから褒められるなんて。”

さて、`da`は動詞`ha-`と共にもちいられ、他動詞的に「全力を尽くす」こと、自動詞的に「消滅」を表す。次の(27)-(29)は前者の例、(30)(31)は後者の例である。この場合、`da`に先行する名詞は、通常`ha-`と共に用いられないものもあることに注目されたい。「みんな(すべて)」を表すところから転じたものであろう。

(27)munja g, dɛlo honsin, i hi, m, l da hɛssgo inje dɛ umjigil hi, m, kɛnyɛŋ muɛlago malhal hi, m, joca g, nyɛl, l wi, hɛ nama issji anhassda. (Mog)

“文字どうり渾身の力を出し尽くし、もはやこれ以上動く力はおろか話す力さえ彼女には残っていなかった。”

(28)nɛ samyɛŋ, man dahan, in gɛsibnida. (中)

“自分の使命を果たすだけです。”

(29)nan, in id, i, li uli ○○odɔgsane dasi dolaol su issdolog ongaj nolyɛg, l dahal gɛsibnida. (皇)

“私は彼らが○○山に再び帰れるよういろいろ手を尽くすつもりです。”

(30)ije i wang, a, i uni dahɛssdamyɛn ddohan sɛloi ilɛnan, in wangaga iss, l tɛini, calali g, l, l caja janbu, i gigɛl, l pyɛbomi ɛddɛhgess, bnigga? (皇)

“今や李王家の運が尽きたのなら、また新たに王家が起こるはずです。むしろそれを求めてますらおの気概を広げるのはいかがでしょう。”

(31)dangunwang, ɛ, m, ggesɛ asadale do, bhasin ji 4cɛn 2bɛg 43nyɛnjjɛyo, ju, ghwa (中華), i sɛntɔg 2nyɛn, ilbon, i myɛŋci 42nyɛne hɛdɛnhan, in gyɛŋsulnyɛn, in issiwanjoga gɛgug 5bɛg 19nyɛne g, gisu (気数) ga dahɛ macimnɛ sɛmolɛŋkɛ, i sogwaŋ (属王), lo jɛnlaghan hɛyɛssda. (皇)

“檀君王儉が阿斯達に都を定められて4243年目で、中国の宣統2年、日本の明治42年に当たる庚戌年は、李氏王朝が開国519年目にしてその気数が尽き、とうとう島の野蛮人の属王に転落してしまった年だった。”

(2) `modu`

数詞に先行して「合計」を表す。日本語で「全部(みんな)で」と訳せよう。次の例を見られたい。

(32)modu yɛl han jalu, i coga nawassda. (Ame)

“全部で11本の蠟燭が出てきた。”

(33)inwɛn, in nal, l pohamhɛsɛ modu dasɛs myɛŋ, i namjad, lbbunida. (週)

“メンバーは私を入れて全部で5人の男だけだ。”

`modu`は`da`と違い、「個々の物を合わせて」というような意味を持っていると言えよう。

3. 否定と`da`、`modu`

‘da’は先行名詞が主語の時全否定、目的語の時部分否定になるようだ。また、2(1)の「強調」を除く用法でも部分否定になるようだ²⁾。次の(34)(35)は先行名詞が主語、(36)(37)は先行名詞が目的語、(38)は述部が移動を表す。

(34) jig, n̄n da əbsə. jibdo siggudo. (Mog)

“今は何もない。家も家族も。”

(35) nop, n̄n salamd̄liya da ḡl̄l̄l su bagge əbsn̄n ge aniya. (Mog)

“お偉いさんたちはみんなそうする他はないじゃないか。”

(36) jinan yel, me ənni os da palam̄ḡji anho gom̄ nangyənohgi cam̄ jalhəsseyo. (Mog)

“夏にお姉さんの服全部売ってしまわないでちょっと残しておいたの本当によかったわ。”

(37) gin, n̄n micə da ss̄ji moshan gunbi(軍費)l̄l̄l pulə jənjəge busaghan salamd̄l̄l̄l wilohəss̄myə, (以下略) (皇)

“彼は全部使いきれなかった軍資金で戦争で負傷した人々を慰め、”

(38) da and̄l̄əgago gyəu səggisongalagdo mad̄l̄l̄l mos n̄ngil̄ jəndoyəssə. (Mog)

“全部は入らなくて小指も関節を通らないくらいだった。”

ただし、次のように述部が‘n̄n’+否定形の時、先行名詞が主語であっても(この例の場合文脈から復元可能)部分否定となる。

(39) ḡl̄sse da hwagsilhan yəgin, n̄n anil̄ədu. (Mog)

“そうさな、みんな確実な話というわけではないんだが。”

一方‘modu’も‘da’と同じように、先行名詞が主語の時全否定、目的語の時部分否定となるようだ。次の(40)は前者の例、(41)は後者の例である。

(40) nan, ani uli modu gos̄lanhi dacīji anho ddo hanbən̄i gob̄l̄l̄l n̄mgo sipdan malyeyo. (Mog)

“私、いえ、私たちみんな無事怪我をせず今一度この危機を乗り越えたいのよ。”

(41) ddalase salam̄i m̄ngwa mam̄l̄l sugolobge han̄nde bihə hyogwaga jəgə ḡd̄l̄l̄i mal̄l̄l ḡd̄ləlo modu ddal̄l̄l su əbsda. (皇)

“従って、人の体と心を煩わせるのに比べ効果が少なく、彼らの言葉にそのままみんな従うことはできない。”

おわりに

以上、‘da’と‘modu’の差異点について議論してきたが、十分に論じきれなかった点もある。特に、語順と否定に関してはまだ考察が足りないであろう。また、‘da’、‘modu’の類義語として他に‘mojoli’、‘mogddag’、‘ontog’、さらに、冠形詞として用いられる‘on’、‘modin’などがある。今後機会があれば、これらの語も併せて考察を進めてみたい。

注1 しかし、(9)-(12)のような場合、先行名詞と`modu'の間に来ることのできる語句はないのかどうか不詳である。

2 「強調」の用法では、次のように否定の意を更に強くする。

・ *hyəgnindo gilən gən da yəmlyə maseyo.* (Mog)

“兄さんもそんなこと心配しないで下さい。”